

バランスシート（普通会計）

バランスシート（貸借対照表）とは...

光市が学校、道路、お金など、どんな財産を持っていて、その財産を手に入れるためにどのようにして資金を調達したのかを表にしたものです。

右表のように、負債や正味資産で集めた資金（貸方）が、学校や道路などの資産（借方）に形を変えたということです。左右が同じ金額になり、バランスがとれていることから、「バランスシート」と呼ばれています。



有形固定資産

学校、道路など建設的な事業に使われたお金の総額です。道路や建物などの建設は減価償却（価値を見直す）をしています。

投資

関係団体への出資金や、土地開発基金、ふるさと福祉基金など貯えているお金です。

流動資産

現金で持っているもののほかに、必要な時にすぐに現金化できる基金、市税など市に納めてもらうお金のうちでまだ収入されていないものです。

バランスシート

（各年度3月31日現在）

（単位：百万円）

借 方		
	平成15年度	平成16年度
【資産の部】		
1 有形固定資産		
(1) 総務費	2,281	2,335
(2) 民生費	2,842	2,693
(3) 衛生費	2,334	2,198
(4) 労働費	945	909
(5) 農林水産業費	8,571	8,515
(6) 商工費	1,633	1,569
(7) 土木費	27,867	27,401
(8) 消防費	379	360
(9) 教育費	13,850	13,531
(10) その他	304	301
有形固定資産合計	61,006	59,812
(うち土地)	(15,257)	(15,300)
2 投資等		
(1) 投資および出資金	1,312	1,337
(2) 貸付金	181	149
(3) 基金	2,029	1,519
(4) 退職手当組合積立金	36	0
投資等合計	3,558	3,005
3 流動資産		
(1) 現金・預金	1,435	2,087
(2) 未収金	847	1,058
流動資産合計	2,282	3,145
資産合計	66,846	65,962

貸 方		
	平成15年度	平成16年度
【負債の部】		
1 固定負債		
(1) 地方債	20,317	19,868
(2) 債務負担行為	0	0
(3) 退職給与引当金	4,660	4,391
固定負債合計	24,977	24,259
2 流動負債		
(1) 翌年度償還予定額	2,238	2,022
(2) 翌年度繰上充用金	0	0
流動負債合計	2,238	2,022
負債合計	27,215	26,281
【正味資産の部】		
(1) 国庫支出金	8,290	8,224
(2) 県支出金	3,631	3,619
(3) 一般財源等 (市税など)	27,710	27,838
正味資産合計	39,631	39,681
負債・正味資産合計	66,846	65,962

市民一人あたりにすると...
資産 119万1千円
負債 47万5千円
正味資産 71万7千円

負債

今まで学校、道路などを建設するための財源として市が銀行や国などに借入しているお金の残高などです。

正味資産

今まで学校、道路などを建設するために使ったお金のうち、国や県から補助金としてもらったものや、税金などの市のお金の総額です。

平成16年度末現在の資産は、平成15年度末から8億8,400万円減少した659億6,200万円となっています。一方、負債は、9億3,400万円減少し、262億8,100万円となりました。正味資産は、5,000万円増加した396億8,100万円です。

昨年度に比べて借方の有形固定資産は、道路整備や市営住宅等の建設を行ったものの、減価償却による影響から11億9,400万円の減少となりました。貸方については、負債が資産以上に減少したために、正味資産の一般財源等が1億2,800万円増加しました。

行政コスト計算書（普通会計）

行政コスト計算書（損益計算書）とは...

市の仕事には、形に残らない、いろいろなサービス（人によるものや給付によるものなど）があります。行政コスト計算書は、このサービスに対していくらかコストがかかり、それをどのような収入で賄ったのかを表にしたものです。

平成16年度の1年間に消費した行政コストは、総額で186億2,000万円となっています。扶助費や補助費等がある移転支出的なコストが最も多く、物にかかるコスト、人にかかるコスト、その他のコストの順になっています。コストの財源にあたる収入項目は182億8,300万円となっています。

人にかかるコスト

行政サービスを行う市職員に要する費用で、給与や退職金が計上されます。

移転支出的なコスト

お金の形のまま市民の皆さんや各種団体に使われるものです。児童扶養手当などの各種社会福祉費や他団体への補助金などです。

その他のコスト

人、物、移転支出以外のものを計上します。災害によって被害を受けた施設等の復旧経費や、長期借入金（公債費）支払利息などです。

行政コスト計算書

（各年度4月1日～3月31日）

市民一人あたりにすると...
行政コスト 33万6千円
収入項目 33万円

（単位：百万円）

【行政コスト】		H16年度
1 人にかかるコスト		4,164
人件費		3,643
退職給与引当金繰入		521
2 物にかかるコスト		5,188
物件費		2,538
維持補修費		151
減価償却費		2,499
3 移転支出的なコスト		8,535
扶助費		2,947
補助費等		2,909
繰出金		2,425
普通建設事業費 (他団体への補助金等)		254
4 その他のコスト		733
災害復旧事業費		158
失業対策事業費		0
公債費（利子分のみ）		547
債務負担行為繰入		0
不納欠損額		28
行政コスト	a	18,620

物にかかるコスト

市の施設等の維持管理にかかる経費や減価償却を計上します。

（単位：百万円）

【収入項目】		H16年度
1 使用料・手数料等	b	1,451
2 国庫（県）支出金	c	2,323
3 一般財源	d	14,509
収入(b+c+d)	e	18,283
4 正味資産国庫（県）支出金償却額	f	493
5 期首一般財源等		27,710
差引一般財源等増減額	(e+f-a)	156
調整額		28
6 期末一般財源等		27,838

収入項目

企業会計で言えば収益に該当し、市が行政活動によって得た収入を表します。使用料、手数料や市税などを計上します。

差引一般財源等

コストと総収入との差で、企業の場合の当期純利益（損失）にあたります。この額がプラスの場合は、次世代のために活用できる正味資産が増えたこととなります。



光漁港広域漁港整備



道路整備事業
(黒杭1号線舗装整備)

建設事業に使われた経費は、有形固定資産に計上されます。